

ワールドクルーザー

コンテンツ

ワールドクルーザーは、環境汚染と気候変動が進行した未来を旅します。人類はより民主的に相互接続され、種の存続のために戦っているのです。

私たちは、ワールドクルーザーが世界を救うという任務の中で得る瞬間の感情を、共有することができるのです。ワールドクルーザーのクルーは、親しみやすい音声で彼をサポートし、人間としての様々な面を叙情的に表現しています。

ベルリンのクラブシーンで生まれた現代の電子音楽とともに、視聴習慣を変えようとする前衛的な映画で、人類に世界共通の同盟「新感覚の協定」を呼びかけます。

ワールドクルーザー

戦争と条約しか書かれていない歴史の教科書の向こう側で、ワールドクルーザーの物語が始まる。同時代の偉人たちが権力と名誉をかけて戦う中、ワールドクルーザーは掛け布団とそれに絡む夢と格闘する。

人々が大陸を超え、空を渡り、せわしなく動き回るネットワークを駆け巡る時代に、枕元で動じない勇気を持つ。

そこで、無限に広がる自分だけの小さな世界で人類のために新たな知見を見出そうとする。望遠鏡が宇宙を観測して宇宙飛行士は地球の周りを回っている一方で、ワールドクルーザーはすでに確固たる事実の根拠から何光年も離れたところにある誰も行ったことのない球体に入り込んでいる。

私たち

発見者たちが見たものを、私たちは自分の目で見て信じている。
そして感謝の気持ちの代わりに、迷惑を感じてしまう。
多すぎて、全員を称賛することはできない
あまりにも速く、あまりにも遠くへ移動していくのでついていけない。

頂点に他者はいない。
あるのは、離れた場所からの伝達のみ。
私たちは特に孤独で
そして特に相まっている。

私たちが共有するものを
手に入れなければならない。
私たちは欲張りだから
誰にも渡せない。

私たちの精神
それは私たちから奪うことができる
社会的な価値を高めるために
それは私たちに力を与えてくれる
素晴らしい夢を実現する
高感度なメディアで不気味に楽しませてくれる
自分の笑顔を信じられるように
全ての恐怖心をなくす

それは正義の精神なのか
平等であるために従うことか？

それは現実に私たちを裁く
善意の信頼を罰する
それは私たちの愛の虜になる
疑心暗鬼に陥る
まだ自由であることを信じている人
そして、私たちの上に立つものは許さない

私たちは長い間、忘れていた
この精神はどのような形をしているのか

ワールドクルーザーが見つめたのは、集合的な負だった。それは驚くほどネガティブなもので誰も責任を取ろうとしない。世界はバランスを崩していた。彼は冷静に、その光景に耐えようとした。自分の欠点が自分の中に浮き上がり不快な依存構造を形成した。失望と実存的な恐怖を感じていた。彼は勇気を出して、目を開けた。自分の住んでいる世界を見るために。

食料も物資も不足していた。権力と富の集中が進んでいた。そしてまだまだ分配が不十分だった。生息地は脅かされ健康も害されていた。少なくとも、代替エネルギーはある。そして、知識も増えてきた。

行動するときが来たのだ。集合的な負に対処するために。それは共同の課題であり人類の義務である。

ワールドクルーザーは行動を開始したそして、自分の使命に取り組む。彼は、毎日のメニューからタスクを選び彼は、毎日のメニューからタスクを選びそして、その作業に没頭する。

嫌な仕事もあった。退屈だったり、負担が大きいの好きじゃない。それでも納得すればできるけど、無理をすれば相手も辛くなる。

今回の仕事は、少し大きすぎたのかもしれないがとても魅力的だ。たとえ危険だとしても引き受けたい、と。希望に満ちた気持ちで、新しい仲間たちとともに紺碧の海へ、一直線に漕ぎ出す。

受け入れる

受け入れる
あなたは受け入れる
これから起こること
どんなことがあっても
受け取って
そのまま持っていて

受け入れる
あなたのものであるから
多すぎず
少なすぎるかもしれない
でもすごく個人的に
貰い受ける

受け入れる
貰える
ここにあるのは
無料
完全に無料
はじめはいつも

受け入れる
それはあなたを連れて行く
落ち着いて自分をさらけ出して
大丈夫
実際に
たいしたことじゃない

受け入れる
受け取った
受け入れた
貰った
そのまま持ってて
自分のために

持ってて
好きなように
時には上に
時には後ろに
でもきつすぎない程度に
そうでないと消える

ワールドクルーザーは、自分の使命に没頭してその成功の可能性をじっくりと検討した。彼は、他の人が成し遂げたことに驚嘆して不思議そうに周囲を見渡した。

崩壊したコンクリートの巨人が、彼の前を滑るように通り過ぎていく前世代からの建築廃棄物。過去の文明の成果を目の当たりにして、彼は考えさせられた。石油の時代、人々は何を愛していたのだろうか。

かつては血管が脈打つように流れていたのに、いまや緑に覆われた灰色の街並みは、不条理な移動手段の始まりを思い起こさせる。

何世紀もかけて作られた建造物が、彼の眼下で崩壊していく。旧体制の有害な残骸誰もが他者より優れていなければならなかった時代。地球を汚染する捕食者のコロニー。泥の中に沈んだ大量の住居の中に散在するきらびやかな宮殿。人生の真の喜びが、ほとんどの人にとって得られないままだった時代。その時代、人間であることがどれほど困難だったことか。つまり愛すること。彼はもっと幸運だったのだろうか？

彼のチームは、彼の考えを共有し、軌道修正した。彼は一人で行動しているわけではなく、仲間に恵まれていたのだ。

人間の海

あの頃を思い出して、一緒に水の中を泳いだときのことを。

私たちの分子は何百万年も待っていた、こんな風に結合するために。
何百万回もの試行錯誤を経て、お互いを知ることができた。
私たちは群れの中で一緒に泳いだ。
時には先頭を、後方を、上を、そして下を。

あの頃を思い出して、一緒に陸に上がろうと思ったときのことを。
何百万回と試行錯誤を繰り返した、一緒に呼吸できるようになるために。
私たちはさまざまな方法で人生を共有し、
大陸とともに漂流した。

思い出して、直立歩行するための数々の試行錯誤を。
何百万もの命が必要だった一緒に歩けるようになるまでに。

あの頃を思い出して、もっと大きく、
もっと強くなりたいと思ったときのことを。
私たちは意志のある頭を頂き、
そして世界の最果てを征服した。
何度もたくさんの人々を失ったのは頭がおかしかったから？

私たちの団結の時を思い出して、善と悪の関係が崩れたときのことを。
お互いに攻撃しあって、自分を認識できていなかった。
平和を手に入れるために、数え切れないほどの戦争をしなければならなかった。
あなたも自分の価値観のために戦ってきたのでしょうか。

私たちは、自分の命を失うことを恐れて、
互いの命を奪い合った。

啓蒙の時代を思い出して、私たちが成熟したときのことを。
私たちが意思を共有するために、どれだけの試みが必要だっただろう。
私たちは、どれだけ残酷な過ちに耐えたことだろう、
お互いに信頼し合えるようになるために。
誰もが自分らしさを取り入れられるようになるまで、
どれほどの時間がかかったことだろう。

愛し合えるようになるまで、どれだけの命が必要だっただろう。
共に平和に泳ぐ人間の海の中で。
時には最前列で、後方で、上で、あるいは下で。

あなたの遺伝子は、そのすべてを記憶している。
正しい精神が導くなら。

ワールドクルーザーは、再建築の現場に到着した。巨大な飛行船が汚染された大地に深い溝を作り地面を新しくした。

家並みが爆破された。古い工場が火に包まれた。レンガが空を飛び国境がなくなった。前時代の社会と相容れない精神がゆっくりと消えていった。有害物質は月着陸船とともに宇宙へ。

ワールドクルーザーは、長い思考の鎖を力強く溶接して型に流し込んで加工に回していた。気候変動を改善するために森林を増やした。滝があつて動物が生息する幻想的な生息地が誕生した。旅行者のための無料ドックシステム自己再生可能なエネルギー源で動く。過半数に支持される。再生を決意した有志によって作られる。

より良い生活の実現が緊急に求められていた。そんな願いを込めた計画。彼のユニットは、公共空間モジュールを制作している。それは開発、様々な出会い、様々な活動、食事、あるいはエロジナスゾーンを持つ植林地や庭園など、共同で選ばれた希望の計画に基づいている。

彼のチームは上機嫌だった。時々、何かが吹っ切れたようになる。しかし、ワールドクルーザーはその使命を楽しんでいた。彼にとってはそれが簡単なことだったから。彼は見ていた。空間がどのように発展し、形となり、完成していく様子を。他の人のために作られた空間。多くの人が認めることができた感動的な事実。

彼は人々の意欲を喜び、そしてシステムの中で見た。集合的な負がどんどん小さくなっていく様子を。

幸せ

孤独な静寂の中から、ひとつの想いが生まれる。
五感をくすぐり、元気を与えてくれる思い。
静かな幸せ

自分の身体にとっての幸せを大切にする
痛みを避けることを学ぶ
食、欲望、運動、静寂
必要なときに必要なものを
幸せを実感するための、無限のファセット
毎日の旅の基本

知ることの幸せを探し続ける
無色のデータを収集する
いつかあなたの心が灰色の事実を照らし出し
驚くべきつながりを明らかにするから
あなたはそれを知っている

そのとき、
希望という幸福に心を奪われる止まらない冒険心
あなたの人生を変える次の瞬間を待っている
常に前を向いて走り続ける喜び

希望が失われたら、
もう一度、実存的な幸福からやり直す
要求を満たし、
幸せになる自由のために戦う

自分の幸せの先を見据えたとき
共有の幸せを見つけることができる
友情と家族の喜びを知ることができる
意志の強さが融合して力を強めることに驚嘆しあなたの力を高めてくれる

この共同体という奇跡があなたの心をとらえたとき
自分の人生を歩む
覚悟ができるあなたの人生に
新しいものを与えるために

幸せを求めて異国の地に飛び出す
人と人との素晴らしい時間を見つけることができる

もしかしたら、
群衆の拍手喝采を味わえるかもしれない

名声という名の虚しい毒を味わえる
成功を実感できる

あなたが求めているのは純粹さ。
心を新たにし、
苦しみを制限する。
安定したパワーのために。

ワールドクルーザー
あなたは運を司る鍛冶屋として、
自分の中の鉄が火に照らされて輝く時間を、
正確に把握している
愛の隣に謙虚さを見出す
それが素晴らしいことなのか、
そうでないのか、あなたにはわからない。

ワールドクルーザーは、自分の使命に没頭していた。他のことはほとんど考えられなかった。彼は全集中力を必要とした。幸福という概念で常に挑戦し続ける。新しい情報がどんどん入ってきて、彼の戦略に影響を与えた。

創造力を発揮する中で、世界は完璧ではないことが次第に明らかになってきた。それどころかやるべきことはたくさんあるのに、手を貸してくれない人や、すでに離れてしまった人、あるいは冷酷なまでに自分の財産を大切にしている人などがいた。

ワールドクルーザーは、自分の使命を真剣に考えた。彼はもっと成果を出したいと思っていた。そして、より多くの人に参加してもらいたいと考えていた。おそらくこれは、常識的な合意がなければ実現できないことでしょう。

目的協定

人類は密接に結びついていて分けることができない
共通の運命を持っている
そして、共通の意志
すべての人が目的を持っている

ワールドクルーザー！
毎日が新しい発見
時にはもう少し、他の人のためにすることもある
センスはナンセンスに分解される
情報化時代には時代遅れ

確信が薄れるとすぐに
次のものが意味をなす
そして、あなたという存在は価値が下がる

誰が自分の感覚を閉ざすことができるのか？
すべてを新たに体験しなければならない
自分を取り巻く世界を理解するために
そして、意味を見出したとき
自分で納得したい

人がすることには意味がある
しかし、誰がそれを尊重したいと思う？
誰が人類に信頼を置きたいと思うのか？
人間であることの痛みはとても深い
自分の種族を疑うほど

果たして我々は常識的な協定を結ぶことができるのだろうか？
異質な塊の中からやがて顔が見えるようになるのだろうか。
人類全体を見渡せるように
洞窟の中の影の代わりに火を見ることができるよう
そして、私たちの本当の姿を恐れることなく
認識することができるかもしれない。

それとも分裂したままなのか略奪集団の中で
暗闇の中で癌のように同族を攻撃する暴走するエゴの
果てしない葛藤に縛られて
人間性のために努力する者は、犠牲者のままなのだろうか？
その人間性を悪用することで勝者となるのか？

いつか、あなたの墓標にこう書かれるかもしれない。
人類ここに眠る - 創造の王冠
何千年も前の侵略的な猿の種が
自己認識によってこの世界を征服し永遠に縛り付けるために暗闇に追い
やり、この世界の上に立ちあがった人

一世代だけなら
人々は自分たちの種族を信じることができた
その頑なさから救い出して
知の呪縛を善に転じる
どんな生活か私たちは一緒に暮らせるのか？

人間の体は喜びで震えるだろう
そして、私たち個々の細胞は地域に根ざし

世界との壁を膜のように振動させ
各国政府にクリアな音が聞こえるように
一つの楽器だけでは奏でられない力を発揮する。

ワールドクルーザーは、国際議会にログインした。オンライン投票のたびに、奇妙な落ち着きのなさに襲われた。何十億という人々がいてそれぞれが異なる状況にあり、異なる使命、態度、スキル、知識を持ちその一票一票が、共通の方向転換のために重要な意味を持つ。彼は、変化に対する国際的な不安を感じていた。ある人は自分たちの世界が混沌に沈むと信じ、またある人は、自分たちの声がこれほどまでに大きな意味を持つとは思ってもみなかっただろう。

その多様性に戸惑うこともあった。もっといいアイデア、理にかなった反対意見あるいは全く新しいものがある。それがさらに重要なことだった。

それがグローバルデモクラシーである。そこでは全人類の声が、個人にとっては、まるで指揮者の数が多すぎて動揺している世界のオーケストラのように聞こえた。彼は自分の道を見つけ仲間を探し投票し、選ばなければならなかった。

様々な形の愛

何もない空間が好きだ

そして、あなたは私のためにそれを埋める
君は特にその瞬間が好きなんだね
そして私はもう次の段階にいる

私はブレーキを踏んで、あなたはアクセルを踏む
そうやって、どんなカーブでも飛んでいくんだ
そして私たちが到着したとき、
部分的に短くなっている

私があなを愛していないとき、あなたは自分を愛している
そして僕は自分を愛している、君のためにも

話題性があるのが好き
あなたと一緒に消えていくもの
君は時間をかけるのが好きなんだね
そして僕はそれを無駄にする

私が道を譲れば、あなたはそこに向かって走る
そうやって僕たちは一緒になるんだ
もしどちらかが間違っていたとしても
私たちはまだ正しい道を歩んでいるのだろうか

私が自分を愛せないとき、あなたは私を愛してくれる
そして僕は君を愛している、君のためにも

色々な形で愛を育む
同じようできて違う
異なるシステム上の同じプログラム

ワールドクルーザーは、人々の様々な声を心地よいハーモニーとして聞いていた。彼らは、自分たちの団結のために、つまり、自分たちの組織のために語ったのだ。そして、体の中の様々な細胞のように、一緒にいてこそ意味があるのだ。

彼は自分の使命を果たし続けた。しかし、しばらくすると、世界管弦楽団の合唱団は、彼に背を向けてしまった。彼はしばらく立ち止まって、その先入観から自分を切り離れた。彼は、自分の仕事にどれだけの時間を費やしたか、気づいていなかったのだ。自分のために、これだけの努力をしたのだろうか？

ワールドクルーザーは、自分の任務が一人歩きしていることに気がついた。そして、その責任に少しばかり不安を覚えた。その間に、彼の仕事はどんどん増えていきそして、彼のすべての能力を要求されるようになった。それは、彼を完全に満たすことを約束するものであり、人生の課題とすることを望んだ。他の興味も巻き込んで、彼の人間性を低下させた。そのことに背を向けると、すぐにまた追いつかれ、集中力を削がれる。

彼は助けを求め、使命の一端を受け継いだ。そうすると、どうすればいいのか、いろいろな意見が飛び交って、かえって危険だ。自分が大多数のために行動しているのかどうか、わからなくなった。そして、やがて周囲から無視されるようになる無意味な分業により、彼の任務は単調になった。そして、同じような作業の繰り返しに悩まされるようになった。何度も何度も彼は自分を引き裂いて、一人よがりの重荷から解放された。そして、その対価として、新しい仕事を探す。しかし意外なことに彼はそれがあまり得意ではないことに気づいた。

機能

あなたの機能
思い通りにならない
再調整する

あなたの機能
自分の考えで
どんな状況下でも、
異なる適応をする

そして、
システムにおいて
他者と共に
誰もがあなたから何かを得られるように

効果がある
期待通り
確実に違う
あなたとだけ

結果を刺激する
そして、
もしあなたが何かを独り占めするなら
他人は何も得られない

だから実行するのは
定められたこと
そして、それが誰の役にも立たないのなら
もう参加しないほうがいい

それでは意味がない
ある人は過剰になる
もう一度全てを変える
新たにやり直す

すべてがうまくいくのは奇跡に近い
そして、あなたはその一部

ワールドクルーザーは、自分の多くの使命から慎重に自分自身を切り離した。決して正當に評価することはできないが、それは彼から簡単に落ちた。なぜなら、彼は全身全霊をかけてそれを成し遂げ、満足したからである。彼は自分の現実を知り、幸運を手に入れた。そして、人類のためになる新たな知識を得たのである。今、彼はその成果を享受したいと思った。そして、疲労を回復したいと願っていた。

ワールドクルーザーは、自分の存在の奇妙な段階から、つまり仕事からゆっくりと目覚めていった。彼は、愛する人のもとに帰り彼が来た社会構造に戻る。一緒にいた新しい人たちと共に。彼は軽快な気分で祝杯を上げたいところだがゴミを出すのを忘れていた.....

一瞬、ワールドクルーザーは自分の行動を世間に秘密にしておこうと思った。しかし、勇気を出して、身近な人に話してみた。その度に、驚くような反応が返ってきた。彼の体験に熱

狂する人、話を聞いて疲れてしまう人、そして、完全に聞き逃している人もいた。いつものような、明るい共通モードが見つかるまで、しばらく時間がかかった。そして、どんなニーズにも真摯に答えていく。

ワールドクルーザーは、仲間の要求から立ち直ろうとした。彼は、デッキチェアを庭に引きずって行き、考えを整理した。

彼は混乱しているように感じた。行動力を失っていた彼は、他人が作ってくれた美しいものの数々を、ありがたく頂戴した。相手を敬う気持ちと愛が加わった。時間が経つにつれて、さまざまなことが簡単にできるようになった。彼は、自分がしてきたことを思い出し、それが意味のあることだと感じていた。それは本当に大きな喜びだった。

誰にとっても。

エピローグ

希望を持ち続け
失うことを恐れず、
信念を貫いた

すべてを捧げた
たくさん手に入れた
まだ少しだけ手元にある

毎日新たに決意する
重要なことは忘れていない
そしてほとんど害はない

共有して
そして、私を他の人とつなげて
そうすれば、私たちは
正しく理解される

メッセージを読み解くまで
共通のメロディーが鳴り響く
そして世代を超えて響き渡る
遺伝子を養おう
欠落している情報で

私たちは信頼し合う
なぜなら、私たちは理解したから
そして、私たちは正しく
理解される

© Yorick Niess 2012